

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 沖縄県  
 本事業の担当部局名 こども未来部こども若者政策課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分	一般メニュー						
関連事業メニュー	1.1.6 その他、ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
個別事業名	沖縄県結婚支援ネットワーク構築事業					新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	令和8年4月1日		～ 令和9年3月31日		事業開始年度	平成26年度	
総事業費(A)(円)	202,040		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	202,040
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	202,040						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	52,000	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	52,000	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計
	総事業費	150,040	0	0	0		202,040
	対象経費支出予定額	150,040	0	0	0		202,040
対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0	
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p>&lt;自治体における少子化対策の全体像&gt; ※全事業共通        本県の人口は、自然増を主要因として増加基調で推移してきたが、今後徐々に減少することが見込まれており、本県の合計特殊出生率は令和5年で1.60と全国で最も高いが、人口置換水準(2.07)を下回る状況が続いている。        さらに、全国同様、未婚化・晩婚化が進行しており、これまで婚活イベントや出会い応援企業の取組を実施してきたが、未婚化・晩婚化の進行に歯止めをかけるのは難しく、R7年度よりマッチングシステム(結マッチ)を開始した。今後も、さらなる出会いの機会の提供等に取り組むことが重要である。</p> <p>&lt;本個別事業の位置付け&gt;        若い世代に対し、結婚、妊娠・出産、子育て、仕事を含めた将来のライフプランの前提となる知識や情報を提供するためセミナーを開催し、ライフデザインを自分事として描ききっかけ作りを行う。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	若い世代を対象としたライフデザインセミナーの実施	<p>・若い世代を対象に、少子化の現状を学ぶとともに、個人の将来設計を考える契機となるようなライフデザインセミナーを開催する。          ※対象: 県内大学生、専門学校生、高校生を予定          ※回数: 3回を想定          ※内容: プレコンセプションケアまたはマネーライフプランニングについて</p>				
<p>&lt;過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)&gt;        ・本県は、10代の出産率が全国で最も高く、若い世代に対する正しい性の知識の普及・啓発と併せて、結婚、妊娠・出産、子育て、仕事等の将来をより現実的なものと捉え、理想とする将来を希望どおり描けるよう自身で考えるきっかけを提供することが重要である。</p>							

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	理想的に事業展開した場合の合計特殊出生率(R11年推計値)			現状値より上昇(R11年)	1.54(R6年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.54(R6年)	
	婚姻件数		件	6388(R6年)	
	婚姻率			4.4(R6年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	若い世代を対象としたライフデザインセミナー	回	3回(R8年度)	3回(R7年度見込)
	②	ライフデザインセミナー参加予定人数	人	80人(R8年度)	50人(R7年度見込)
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	70%(R8年度)	
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	④	ライフデザインの大切さを考えさせられた参加者の割合(満足度)	%	70%(R8年度)	70%(R7年度見込)
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					